



ひなたぼっこ

No. 147

E-mail: koreikyo@poppy.ocn.ne.jp

URL: <http://miyagi.koreikyo.jp/>

震災復興企画

「将来の電気エネルギーを学び、

原発再稼働を学ばせよう」

令和5年9月10日(日) 11時から12時30分まで「ひなたぼっこ石巻」にて13名の方が参加し、開催されました。内容は、電気エネルギーの現状と女川原子力発電所の再稼働についての動きや活動の様子などが報告され、参加者で学びあいました。

伊藤理事長の「震災復興問題は今では原発問題である」という挨拶で始まりました。

水戸部理事より「自分たちの手で自然な発電をめざす。これは夢ではなく、少しずつ実現していて、太陽光発電の機材も安くなってきた。配電ネットワークも大規模集中型から自立・分散型へすることが重要だ」と報告がありました。

組合員の斎藤さんからは、「女川原発再稼働を阻止する活動」についての報告をいただき、仙台地裁が福島への怒り、自分たちが活動していること、多くの人が原発問題について考えて欲しい機会を与えてくれること、説明されました。また、石巻市の

避難計画」についての問題を提示資料で訴えました。例えば、「ここに住んでいる方の避難は、まず自宅から一時集合場所へ移動し、放射能被ばくの検査を受け、仙台市宮城野区新田東総合運動場に避難することになっています。また、行ったことのない場所への避難、そして放射能は色も臭いもなく、視覚聴覚ではとらえることができないことから通常の災害とはまた違った問題を抱える」との訴えをしました。大雨時に作動するはずのポンプが遠隔操作に問題があり動かなかったなど、石巻市の対応の悪さも指摘されていました。

交流会では、感想や質問が出されました。

① 昔は水力発電が主流と学んだが、資料を見ると火力発電が主流なのはなぜか？

(回答) 水戸部理事より「水力発電の技術は外国からのもので輸入機材が多いために発展、定着しなかった」

② 石巻市のマニュアルは津波を免れないものになっている。せつかく作った防波堤がまったく効果がないのではと思えます。

③ 発電に使うパネルの寿命はどのくらいなのかな？

(回答) 水戸部理事より「通常は20年、壊れなければ30年程度は持つのではないかな」

④ 個人で太陽光パネルを作り、自然エネルギーを普及している方からも空き家を利用している取り組みの報告がありました。

最後に丹野副理事長より「私達が住んでいるこの地球は、未来の人達に借りているもの。だから人間らしい暮らしや環境を破壊する激しい流れをみんなが阻止し、できるだけ傷をつけずに返さなければならぬ。」という挨拶があり、手作りのカレーをいただき解散しました。



「大根まつり」

今年も登米町にある里山林
農元気村の「大根まつり」に
共催します。大根掘り体験や格安で
の大根販売、地場手作りの品の購入が
出来ます。



詳細は天候により変更になる場合が
ありますので、随時お問い合わせせ
ください。

日程2023年11月4日(土)

10時30分～13時00分

開催場所 「里山林農元気村」

住所：宮城県登米市登米町日野渡

蛭沢100

参加無料・少量雨天決行

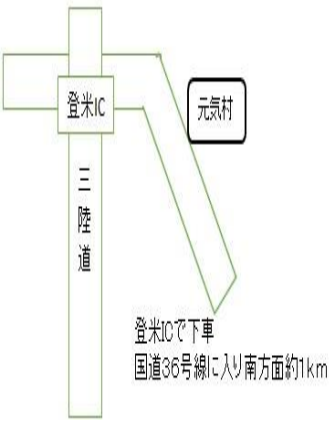
*参加希望の方は、直接会場へお越
しください。

問い合わせ先

小規模多機能居宅介護事業所

この庵(びじ) 長尾・藤田様まで

電話 022(779)6270



【事業所からの報告】

小規模多機能居宅介護事業所

この庵(びじ)

高森の丁白町内会の「灯笼祭り」
に参加しました。

灯笼用の和紙に、利用者さんが思
い思いに自由に描いていただき、今
和5年8月16日の高森の丁白東公園
の夜を彩りました。



手づくりゲームで楽しく脳トレ

スタッフの創意工夫で「紙コップ
倒し」「水ヨーヨー釣り大会」など
日々軽体操の後に脳トレの二環で楽
しんでいます。



毎月11日と12日は

シェイクアウト実施日

この庵(びじ)では、毎月11日と
12日に大地震を想定して避難訓練を
実施しています。体調が変化しやす
い高齢者にとっては、日頃の訓練が
大事です。地震時の初期行動として
のシェイクアウト訓練を全員で実施
しております。



頭を守りましょう！
揺れがおさまるまで待ちましょう！

スマホの使い方やパソコンで困って
いませんか？

若林地域支部と若林健康友の会「助
け合いの会」が合同企画で

「高齢者向けのDX(デジタル改革)
回でも相談交流会」を開催します。
スマホやパソコンを持ったがよく使
い方がわからない高齢者が集まっ
て、交流会をします。気軽にご参加
ください。

開催日

第4木曜日 14:00～15:00です。

場所 公益財団法人宮城厚生協会

若林クリニック・会議室

住所

仙台市若林区下飯田字遠谷地174

電話 022(2209)850808

参加対象者は

・スマホやパソコンを使ってみたい
が、使えるか心配

・スマホやパソコンを持ったがよく
分からない

・スマホやパソコンを使ってみたら
便利さが分かった

など、そんな高齢者が集まったの相
談交流会です。

難問クイズは紙面の都合でお休みとせ
ていただきます。

組合員のみなさん
 あなたの声を聞かせてください。
 どんな小さなことでも……
 どんなささいな夢でも良いです。
 みんなで語り合しましょう！

地区懇談会

宮城県内7か所で開催

地区懇談会とは

組合員のみなさんには気軽に参加していただく、参加した組合員さんから「口實の声を自由」に交流する場」となっております。

宮城県高齢協では令和3年より組合員の声を聴く場を設けており、ですが、なかなか浸透しない為、理事會では地区ごとの小さな集まりを設けて、方針などを直接伝える場として「地区懇談会」を設定いたしました。

ぜひ、あなたの声を聞かせてください。どんな小さなことでも、どんなお悩みでも取ります。みんな語り合おう！

各地区の日程及び会場は下表の通りとなっております。

- ① 自由「語り」の場です。宮城県高齢協「口實の声を聴く」を趣旨として、普段感じている声や悩みを聞かせる場です。
- ② 参加は随時着席を越したくないです。
- ③ この会場で参加してもかまいません。参加される場合は会場準備のため事前に電話してお知らせください。

日程・時間	地区名	会場・住所
10月17日(火) 10:00~12:00	名取地区	名取が丘老人憩いの家やすらぎ荘 名取市名取が丘3丁目5-5
10月17日(火) 10:00~12:00	泉区地区	高森6丁目集会所 仙台市泉区高森6丁目15-2
10月17日(火) 14:00~16:00	青葉地区 (午後開催)	仙台市福祉プラザ第3研修室 仙台市青葉区五橋2丁目12-2
10月19日(木) 10:00~12:00	青葉地区	仙台市福祉プラザ第2研修室 仙台市青葉区五橋2丁目12-2
10月22日(日) 10:00~12:00	泉高森地区	高森3丁目集会所 仙台市泉区高森3丁目
10月22日(日) 10:00~12:00	石巻地区	ひなたぼっこ石巻 石巻市大街道西2-1-25
11月2日(木) 14:30~16:00	若林地区 (午後開催)	若林クリニック集会所 仙台市若林区下飯田遠谷地174

(組合員数 1,176人 2023年8月31日現在)

参加申し込み、その他、問い合わせは
 159-1100 お願いいたします。

電話022(373)1285
 仙台市泉中央老人福祉センター内
 半澤まで



どなたでも参加できます。普段着でお越しください。

参加希望の方は、事前に「泉中央老人福祉センター・半澤まで」連絡をお願いいたします。☎ 022-373-1285

原則は地区ごとですが、日程の関係で参加が難しい場合は、他のどの地区に参加しても構いません。

組合員の皆様へ

出資金増額のお願い

宮城県高齢者生活協同組合は、組合員ひとりひとりのご意見と出資金により運営されています。

2019年の経営危機の際には、大胆な事業運営の整理に加えて、組合員有志からの超低額利子による経営資金の借入れと、組合員の皆様からの出資金の増額、及び職員の協力による大胆な経営合理化によって危機を乗り越えてきました。しかし、昨今の燃料費を含む急激な物価の高騰と介護保険制度改善の立ち遅れによる収入減もあり、介護保険事業を中心にした現在の事業運営は、収入が減少する一方で経費が急速に増大し、深刻な経営困難に追い込まれつつあります。もちろん政府や行政からもこの事態を打開する様々な支援の手立てを打っていただいておりますが、もともと経営体力の小さい当組合にとっては、経営危機打開の特別な対策が求められています。

そこで、当理事会は、政府・行政への支援強化策の要請とあわせて、自力での経営改善の努力に加え、組合員の皆様から「出資金の増額」をお願いすることといたしました。

「出資金額」は現在の「組合員一人一口1,000円から」を、可能な限り「組合員一人5口5,000円以上」になるように増額いただきたいということです。

なにとぞよろしくお願いいたします。

*なお、出資金の増額は強制ではありませんので、ご無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

宮城県高齢者生活協同組合理事会

みなさまからの出資金及び増資については、今ある事業と運動をささえる資金に活用させていただきます。

1. 小規模多機能型居宅介護事業所いりろり庵こぶしは、さらに利用者を増やす取り組みをすすめながら、光熱費高騰に対応し、国の介護保険制度に準じて事業展開をしています。しかし、介護福祉政策の問題点で介護度が軽くなると事業者にとっては減収になる矛盾が発生しています。その矛盾を抱えながら、さまざまな改善に取り組んでおります。
2. 泉中央老人福祉センターでは、元気高齢者から生まれたボランティア会を存続し、活動の範囲を広げて、新しい仲間に出会える機会を作っていきます。
3. ひなたぼっこ石巻では「介護予防事業」を開始しました。
興味・関心のある方は、ひなたぼっこ石巻までご連絡ください。
4. 組合員活動企画を計画中です。
「大根まつり」など、他の団体との共催をしながら楽しめる企画を増やしていきます。

*増資にご協力いただける方は、下記の事業所までご連絡ください。

または、お近くの組合員理事までご連絡ください。

仙台市泉中央老人福祉センター	☎ 022-373-1285	館長・半澤晃	(9:30~17:30)
小規模多機能型居宅介護事業所いりろり庵こぶし	☎ 022-779-6270	所長・藤田均	(9:00~18:30)
ひなたぼっこ石巻	☎ 0225-93-9761	所長・丹野幸子	(10:00~14:00)